

2023.11.9 (木)  
第 18 回例会  
(通算3733回)

## 2023-2024 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第85代会長 後藤 公貴  
副会長 樋口 貴広  
幹事 佐藤 貴之  
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00  
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル  
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F  
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2023-2024 年度  
国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう  
2023-2024 年度  
RI会長 ゴードン R. マッキナリー  
第 2500 地区ガバナー  
鶴見 誠一郎 (釧路港 RC)

月間テーマ ロータリー財団月間

本日のプログラム 「情報集会報告会」(クラブ研修委員会)

次週例会 「クラブ創立 87 周年にちなんで」(親睦活動委員会)

- ロータリーソング：四つのテストー
- ソングリーダー：伊藤 邦彦君
- 会員数 103 名
- ビジター
- ゲスト

### 会長の時間

後藤 公貴会長



皆さん、こんにちは。お食事の方はどうぞお続けになって、お耳だけ傾けていただければと思います。

ご報告からさせていただきます。10 月末の土曜日に第 4 回目となる第 7 分区の会長・幹事会が白糠の『やまかん』で開催されました。

その席で、次年度 2024-2025 年度のガバナー補佐になれる方の発表がありました。今回は「釧路東ロータリークラブから輩出されまして、新太平洋商事株式会社代表取締役の佐々木勉君が次年度のガバナー補佐」と、佐渡ガバナー補佐よりご報告がありましたことを皆さまにお伝えをさせていただきます。

本日は、上期の情報集会の報告を皆さまからいただきます。私がお願いしたテーマ、会員拡大について、そして退会防止策について、そして釧路ロータリークラブの中長期ビジョンについて、を皆さまに討議・協議をしていただきました。

いずれにしてもこの 2 点、釧路ロータリークラブの未来のために大変大事なテーマであると思っております。私も、会長をさせていただくときに、引継ぎというか「後藤君の考えで、好きなように頑張ってください

さい」というような申し送りはありましたけれど、引継ぎというものはないという歴史もあるようですが、3 年後に 90 周年、13 年後には 100 周年を迎えるクラブの状況を鑑みまして、このようなテーマにさせていただきました。

私としては、協会長の時に皆さまにご協力いただいたクラブのアンケートの結果、そしてこの度、情報集会で皆さまからいただいた貴重なご意見を参考にして、今後のクラブの未来をみんなで考えて行く礎にする 1 年にしたいと思っております。本日の皆さまからのグループの発表を楽しみにしております。

私も B グループで大変貴重なお話を皆さまからいただいて参考になっております。ぜひよろしく願いいたします。

最後になります。実は私は 3 週間ほど前から風邪をひいております。インフルエンザ、コロナの検査もしていますが、そちらは陰性で大丈夫なのですが、こんなに長引く風邪は人生で一番しんどい思いを致しました。だいぶ治って来ておりますけれども、皆さま、季節の変わり目で急激に寒さが来る季節でもありますのでお体にはご自愛していただきまして益々社業、そしてロータリー活動を精力的にこなしてまいりましょう。

本日も有意義な時間となりますこと、よろしく願い申し上げます。

ありがとうございます。

## 幹事報告 佐藤幹事

皆さん、こんにちは。幹事報告になります。

今週末、11日の土曜日に「網走ロータリークラブ創立70周年式典」があります。こちらにクラブから後藤会長と私、吉田潤司パストガバナー、吉田敦子令夫人の4名で参加してまいります。

こちらは「釧路クラブの子クラブ」となっておりますが、本来であれば皆さまで網走の地へ行ってという形になると思いますが、今回は招待制となっておりますのでご理解いただければと思います。

以上です。

## 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 寄付贈呈

本日は、はじめに公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の寄付贈呈を行います。

先月、開催されました米山記念奨学

会チャリティゴルフコンペ、並びに例会で集められました寄付を合わせまして、「なゆたの会」青田会長より後藤会長へお渡し願います。



## ■本日のプログラム■ 情報集会報告会

### クラブ研修委員会 船木 博委員長

皆さん、こんにちは。今日は、伊藤君の久しぶりの指揮を見させていただきま

した。ありがとうございます。彼も一時、退会を考えたりして

いたのですが、ちょうどその時に休会制度というのを設けまして、その休会ということで、1年で戻って来ています。これからまた頑張って参加していただけると嬉しいです。

10月19日から2週間の予定で、AからJまでの10グループで情報集会をさせていただきました。面白いもので曜日は、月曜、火曜が多い感じでした。一番多いのが火曜日で4グループです。一度に3グループという日がありまして、ちょうど3人で分担してやることができました。

この情報集会の出席ですが、場所によってだいぶ違いまして、谷川君の所の人気が一番高いです。料理が特別にいいみたいです。ちなみに出席率は60パーセントでした。10人のうち6人位が参加していただ



ました。3人で回って、3回・3回・4回という形で分けて実施させていただきました。

今日の順番ですけど、サブリーダーにやっていただいて、ABCの後ろの方、Jからやっていただきたいと思

## Jグループの発表 荒井 剛君



私はJグループのリーダーを務めていたのですが、サブリーダーが当日と本日欠席のため私が発表させていただきます。

3つテーマがありまして、まず、会員拡大です。これに関しては「永遠のテーマだ」と口をそろえて、「過去の話」「どうすべきか」「他のクラブはどうしているのか」などの話が出てきました。「人数を制限した方がいいのではないか」という話もありました。例えば、「札幌のロータリークラブはいま人数制限を設けている」という話も出てきました。一方で「どんどん入れた方がいい」という声もありますし、「ロータリークラブの方針として、ロータリアン及びロータリアンの家族、配偶者も入れることで会員を拡大させる方向も示されている中、そのような方針をとるといいのか」についても議論がなされました。共通しているのは「誰でもいいわけではない」が皆さん口をそろえて同じ意見でした。

釧路ロータリークラブは戦前からあるクラブで、2500地区第7分区では他を引っ張って行く存在ではないか、ということで個性、「歴史と伝統」と言い換えることもあります。が、「きわめて個性があるクラブということが大事なのではないか」と。

では、どのように会員拡大をすべきかになりますが、「何もしないとアツという間に減ってしまう」は皆さんが言っています。「会員一人一人の意識が大事」なものと、それぞれが自分のクラブを好きになる・大事に思うことがないと、他の人を誘う時に「うちのクラブはいいよね」という声掛けができないのではないかと。ということで詰めていくと、会員の個人個人が自分の所属する今の釧路ロータリークラブを大事に思う・好きになることが大事になる。そうすることで声掛けにつながる。

そして声掛けする時には単発的にやるのではなく、全員が一斉に一致団結して仲間に声を掛けて行く。声を掛ける時には二人一組などで声を掛けて行く。声を掛けて少しでも前向きになった時には三役が一気に行くとか、続けざまにアタックすることが大事なのではないかという話が出てまいりました。これが会員拡大の話だったと思います。

90周年、100周年に向けてです。これはテーマが難しいこともあって、90周年、100周年の時に何をすべきなのかの話をするべきなのか、あるいは、90周年・100周年に向けて釧路ロータリークラブとしてどういうビジョンを持って臨むべきなのか、という幅のあるテーマでしたので、いろいろな意見が出ました。

「中長期ビジョンを掲げることが大事だ」という総論的な話は皆さんが賛成なのですが、具体的な中身に関しては、情報集会の中では個別なアイデアとしては出てきませんでしたが、「90周年・100周年に向けて、釧路クラブの周年ではありますが、せっかくなので第7分区の他のクラブも巻き込んで大きなプロジェクトができないか」というひとつのアイデアが出ていますのでご報告します。

最後、今後のロータリーカップが情報集会の3つ目のテーマで掲げられていたのですが、これは、私としてショックな話で聞きました。

元々、ロータリーカップができた経緯からするとだいぶ違って来ているのは皆さんご存知かと思います。昔は二軍チームの生徒がたくさんいて試合に出られないアイスホッケーの選手たちを集めて試合に出させるのが目的だったのですが、今は一軍のチームの選手すら集まらない。何がショックだったのかを言いますと、この情報集会が開催されたその日、あるいは前日でしたか、岩田さんが青少年の理事でしたので、学校の先生から「このような大会は実は難しいです。むしろ止めて欲しい」みたいな話があったということを知り、時代を感じるとともに、どうしたものかを皆さんで議論しました。アイスホッケー人口は少なくなったのは間違いないですが、ではロータリーカップはどうするか、それに代わるものができるのか、をもっと議論して行かないといけない、と最後は重めな深めな話となりました。

Jグループからの報告は以上です。ありがとうございました。

### Iグループの報告 中島 徳政君



本来ですとサブリーダーの及川さんが発表の予定でしたが、「本日、欠席で申し訳ありません」ということで事務局にFAXが届きましたので、私から代読ということとさせていただきます。決して、私の思いではないことを付け加えてスタートします。

当グループは10月23日、釧路町の『朴善』にて行われました。最初に吉田リーダーから、今回の情報集会のテーマについて説明がありました。続いて、滝

越クラブ研修委員から情報集会の趣旨の説明がありました。その後、吉田リーダーの発案で食事前今回の中で大事な会員拡大の話が進められました。多数の意見が出ましたが、「基本的に各会員がリストアップをして年間1人あたり3名から5名程、地道に声を掛けて行く方が良い」「今年がだめでも来年、という感じでやって行く」。あとは「退会者を極力出さないようにした方がいい」という意見がありました。

私が出た情報集会では初めてだったのですが、この1つ目のテーマが終わった後に樋口副会長の音頭で乾杯をして初めてビールにあり着いたという形です。食事をしながら90周年・100周年に向けて、今後のロータリーカップについての話が行われました。

周年に関しては「80周年を基本に釧路ロータリークラブを外に向けて認知されるような事業を考えてみてはどうか」という意見がありました。ロータリーカップについては「前回みたいな方法で、釧路だけで全チームをシャッフルしてリーグ戦を行うのもいいと思う」という意見がありました。また、「釧路市やアイスホッケー連盟を含めた大会にしてはどうか」という意見も出ました。

あとは、「今回のテーマと関係ないのですが、釧路の史跡や名所を紹介したり、訪問することを行ってはどうか」という意見もありました。その後、昔のロータリーの話や趣味の話で大いに盛り上がり、8時30分ごろに終了しました。現地、解散となりました。

以上、及川さんの代読をさせていただきました。

### Hグループの発表 土橋 賢一君

皆さん、こんにちは。お久しぶりです。そして、半分くらいの皆さん、初めまして。土橋と申します。どうぞよろしくお願



いします。ロータリーは暫く出ていなかったものですから、サブリーダーを当てられてしまいました。

Hグループは、舟木研修委員長、川合リーダー以下6名で『華蔵』で開催されました。食べきれないほどの美味しい料理をありがとうございました。

まず、ロータリーカップから。「今まで40年以上の長きに亘り十分に貢献できたと思うのは誰もが認める所です。近ごろの子どもの傾向は団体よりも個人でやるスポーツに向かっているようですから、今度はマイナーなスポーツを支援してみてもどうだろうか」、「スポーツにしても他のことにしても期限を決めて、いろいろなものを支援するのも一考ではないか」ということです。

次に90周年・100周年について。これは周年の事

業についての意見ですが、「式典だけでいいのか」「寄付して終わるのか」「対外的なものは必要か」という意見の中、「やはり、自分たちのお祝いですから駐車場係や裏方だけでは楽しくないので、昔、クラブに所属していた転勤族の方を呼んで、同窓会を行ったら喜んでもらえるし、楽しいだろう」、また「釧路の玄関口、空港と駅にはモニュメントを建てて釧路クラブをアピールしてはいかかか」などの意見がありました。

最後に会員拡大については、長らく女性会員に対して抵抗感がありましたが、池田いずみ君が入会して、その活躍を見た時に少し考えが変わらざるを得なくなったと思います。これからはLGBTQの人たちのことも考えに入れなければならない時代になったと思います。いずれにしても、釧路クラブの風土に合った人が入会してくれるといいと思います。

今回、6人の中に2人、小野寺君・戸川君の電車コンビがいましたから、当然、話の9割はその方面で、「札幌からの『おおぞら』にせめて自販機を置け」とか「切符は15回乗り替えたら、あとの切符は手書きにしなければならない」とか「オレの方がよく知っているのだ」という話と「昔の『スーパーおおぞら』が今はスーパーがない『おおぞら』になったけど、鹿とぶつかって止まってばかりだから、『こぞら』か、ただの『そら』にしる」とかのお話で盛り上がりました。大変楽しい情報集会でした。

おあとがよろしいようで。

### Gグループの発表 木下 正明君



先週の例会の夕刻にこのキャッスルホテルで開催させていただきました。例会では東堂社長の東興電気さんのライラセミナーに出席された

女性社員がとても素敵でうらやましいなと思いつつ、あと後藤会長の挨拶で「夜の街に潤いを求めて、盛り上げて欲しい」という話がありましたので、まずは会員拡大です。

そもそも「ロータリーって分からない」という方が多いので、入会は一本釣りです。皆さんが紹介された方が多いと思うのですが、ロータリーを知らしめることで名刺にQRコードなどを入れて、「釧路ロータリークラブについて」とか「ロータリークラブについて」紹介するような仕組みを作るといいという話がありました。

90周年・100周年です。「100周年のころには人口が少し減っていますので、街興し的なことにつながる大きなことを行うといい。それにつながる90周年も大事になる」という話もありました。

ロータリーカップですが、「最近、アイスホッケーが元気なくなっているの、関係機関と調整しながら、ロータリーの役目を模索することを考えたらいいだろう」が出ました。

街を盛り上げようということで、横田会員から「秘密を作りましょう」と言うことで『レラ』に行きまして、12時くらいまで二人で飲んでしまいました。途中で酔っ払った東堂さんが行ったり来たりして、最初は「お宅の社員、すごいね」とか言っていたのですが、最後にはろれつが回ってなくて、「社長、これダメだな」と思って少し留飲を下げながらその日は満足して帰って来たということです。

### Fグループの発表 牧田 知也君

当グループは去る10月24日に『はたごや』で、白幡リーダーの下、高橋徹次君、佐藤伸昭君、サブリーダーの私とオブザーバーで滝越



君、関向君の6名で討議をしました。

まず、会員拡大についてです。「ロータリーの組織として魅力あるものにしていかなければならない」というのは当然ですが、「組織というのは極端にたくさんいても、極端に少なくなっても困るのです。ちょうどいい塩梅の人員というのがあるのではないか」という話がありました。「過去最高が115名と聞いていたのですが、ちょうどいい人数はどれくらいになるのだろうかという議論が必要だ」という意見があり、それを踏まえて「会員拡大が必要であれば、目標数値を決めてみんなで頑張っていかなければいけない」という話がありました。

90周年・100周年に向けてです。70周年の時には現『DCM』の石黒ホームの石黒靖尋さん(故人)に講演をしていただいたと聞きました。非常にためになる話を聞かせていただいたということで、私も聞きたかったと思いました。この方はなかなか講演していただかなかった方で「特別に」、釧路への想いがあったのだろうと思います。「経済だったり、教育だったり、われわれのためになる講演会があってもいいではないか」という意見がありました。ちなみに、参加していただいた佐藤伸昭君が、過去に聞いた講演の中で「皆さんがご存知の明石家さんまの『ホンマでっかTV』によく出ている植木理恵さん、東大の心理学を終了された女性の方の講演を聞いて、心理学を通じて社員教育などにすごくためになる話を聞きました」と、いろいろな事例を聞かされて、そのまま佐藤さんが講師を行ってもいいくらい興味深い話を聞かせていただきました。「そのような皆さんのためになる講師の講演が

いいのではないのでしょうか」という意見がありました。

Fグループは以上です。ありがとうございました。

### Eグループの発表 多田 賢一君



本日、米本サブリーダーが欠席ということで、先日、山田君役をやらせていただきました多田から報告させていただきます。

19日に『瓢』で、舟本委員長をはじめ7名の出席で会合をしています。

最初に、川本リーダーからこの会合の歴史などを紹介していただき、テーマについてそれぞれ話し合いました。

最初の会員拡大についてです。意見としては「会員の数より質の方が問題だ。いくら会員拡大してもダメではないか」「定数100名とした札幌ロータリークラブのように、われわれのクラブもそういう形態でいいのではないか」という意見。ただ「現状の運営体制を考えますと最低90名以上のメンバーが必要となっていて、今の100名からもう少し会員拡大したらいいのでは」という意見が出ています。まとめとしては、「会員拡大よりも現状の質のいい会員を維持して行くのが大切ではないか」でまとまりました。

90周年・100周年に向けてです。これはすぐ終わってしまいました。釧路クラブの3年後の90周年を開催するにあたっては、「準備・運営方針は現状のメンバーがいれば問題なく開催できるだろう」という楽観的な意見。100周年については「まだまだ先のことなので想像できない」という話が出て終わっています。いずれにしても、将来、このクラブからガバナーを輩出することになるので、今から少しずつ準備が必要だ」という意見でまとまりました。

今後のロータリーカップです。ロータリーカップについては10年以上前から議論が続いていて、なかなか結論が出ていない。その繰り返しが続いていて、時々、の会長が相当ご苦労されている話が出ていました。今後どのようにしたらいいかの意見がなく、「他のクラブや団体に開催を振って行くことも考えなければいけない」という意見とか、「継続するにしても試合の方法などを変えて行かなければならない。例えば、プロのチームと高校生が対戦するなど工夫が必要ではないか」という意見です。

「開始時の目的が変わってきているので極端な意見では、アイスホッケーにこだわるのではなく、他のスポーツ・文化・芸術の分野でなにか行ってもいいのではないか」という話も出ていましたが、最終的には『氷都釧路』と言われてきた街でアイスホッケーなどのウ

インタースポーツが消えてしまいそうな中でわれわれのクラブが開催しているロータリーカップを止めてしまう訳にはいかないのではないか」という意見で最終的にまとまりました。

以上です。

### Dチームの発表 工藤 彦夫君

Dチームの場所は『ぎゅう太』で行いました。先ほど『朴然』もいというお話がありました。ぎゅう太では、大変美味しいお肉をいただきました。邵さん言っておいたよ。ただ焼肉焼いていると肉を焼くジュージュー、ロースターのバーンという音と、隣にいた石井君が「俺の焼いた肉を取られるか、心配で」とちょっと気が入っていない会話に入っていました。

会員拡大はいろいろな話で名前とか出たのですが一緒にいた石田さんが「数よりも質」と重い話をしてくれましたが、石田さんは他にも所々でいい話をするのですが次の日になったら覚えていないのが難点です。あとは退会を防止するにはどうしたらいいか。結局は、「最初に親睦に入れて仲良くさせろ。そうじゃないと友達ができないで一人ぼっちになるから、だんだん離れていくのだよ」という話が出ました。

今日は羽田野君が発表するのだったが、ワープロで文字が小さくて読めない。

あと、周年は90年と100周年あるのですが、「いずれにしても地域に根差した特に次世代釧路を担う若者に対しての事業をやったらいいのではないですか」という話が出ています。

他にも話はありますけれど、時間ですので終わります。



### Cグループの発表 沢田 和泰君



Cグループは吉田リーダーをはじめ、池田君、小林君、田村君、西池君、クラブ研修委員の滝越君の7名で議論となりました。

最初に、西池君が有料版のChatGPTを使っていて、素晴らしい模範解答を持って来ていただいて、「これで良いのではないか」という話もあったのですが、みなさんは真面目な方がそろっていて、そこから2時間の深い話ことができました。その中身を報告します。

会員拡大については、「拡大することだけが全てでいいのか」という話がスタートにありましたので、拡

大というよりは維持をしていく話になりました。「人口も企業も減って来ているので拡大というより、この歴史と伝統を守って行くことが大事でないか」という意見とか、「100人から110人位の数キープするのがいいのではないか」という意見でした。その中で、「定数制を設けた方がいいのではないか」ということで、「ロータリークラブの会員になるステータスを高めることが必要で、選ばれし者が入っていることでプレミアム感を高め、質と数を保っていくのがいい」という意見でした。

90周年・100周年に向けてです。その時に何をやるかの議論にはならず、先ほどのどうやって維持して行くかのつながりで、話の方向がそうになりました。「この先、長く歴史と伝統を守って行くには、将来、会員になるだろう起業家の方や子どもたちに寄添って支援して行くことが大事ではないか」という意見でした。例えば、ここに多くの社長さんがいますので、社長さんが子どもたちに「釧路が好きで、このようなことを行って頑張ってきた」みたいなことを講演する機会を多く設けることや「もっと釧路を良くするアイデア出し」のプレゼンを行って、それを表彰してあげて子どもたちのやる気を引き出したり、釧路をもっと好きになってもらうと、それが将来のロータリークラブの継続的な運営になるのではないかという話でした。

ロータリーカップでは、「目的が少しずれてきている」という話がありました。2つ意見が出ました。ひとつは原点回帰ということで、「出場機会をつくってあげる」です。今アイスホッケーは人口が多くないため、出場機会が無い子は少ないと思いますので、例えば野球とかバスケットとか人気種目で出場機会が少ない子供たちにチャンスを与えるイベントに変えて行くのがよいのではないか。もうひとつは「アイスホッケーの街釧路」にこだわるのであれば、アイスホッケー人口のすそ野を増やす活動がいいのではないかという意見です。「アイスホッケーは結構お金がかかるので、道具や場所とか練習機会を与えることでアイスホッケーの街釧路を支える活動ができるのではないか」という意見となりました。

2時間話をして、メンバーで二次会に行きました。最後は滝越直前会長の『ダンシング・ヒーロー』のカラオケで盛り上がり会を締めたことをご報告します。

## Bグループの報告 田坂 渉君



当グループは10月24日、天方リーダーの下、後藤会長、五十嵐君、松井君、研修委員の杉村君、私の6名で開催しました。

会員拡大では、「すぐに結果は結びつかないので地道な活動が必要だ」となったのですが、具体的な活動として「過去に退会された方の後継者とかの名前を挙げて、絞って複数人でクラブの推奨をするのが必要だ」との話が出ております。

退会防止策では、「タイプとして3つある。ずっと出席している会員、当初出席していたが出席数がどんどん減っている会員、なかなか出席できていない会員がある。当初出席していた会員に再度アプローチをして出席をしていただくことで退会防止につながるのではないか」という意見が出ております。

私もそうですが、「新入会員が入った時には親睦活動委員会に入る形になっているので、そこでコミュニケーションがとれるのはいいのではないか」という意見が出ておりました。

中長期ビジョンです。アイスホッケー大会では、「内地からは費用の面で来られなくなって、釧路地区でも単独のチームがなかなか作れなくなっていることを踏まえて、釧路での高校を含めて受け皿がないとアイスホッケー人口の流出にもつながっている」という意見がありました。そこでは、「地域に根付いた釧路クラブとしてやって行きたい」という会長の意志もあり、長期的に見直しをして「10年スパンでも5年スパンでもいろいろな事業をやってみて、地域に貢献できる事業を考えて行くことが必要でないか」というお話が出ております。

そこで「受け皿がない」という話をしましたが、街づくりの一環として「釧路には理数科がない」とか「環境関係の注目される学科がない」がありますので地域支援・街づくりで単独ではできませんけれども、クラブとしての働きかけで街づくり、地域に根付くことが必要ではないか」という意見が出ております。

しかし、トップ次第でそういうことができる・できないが変わってきますので、先日の新入会員歓迎会で私は大喜利で大すべりをしましたけれど、市長選に大谷翔平さんが良いと話しましたが、Bグループの意見として「杉村荘平君に市長になっていただいて、釧路ロータリークラブとともに地域づくりをしていくことがベストではないか」という意見でまとまりましたので報告とします。よろしくお願ひします。

## Aグループの発表 伊藤 邦彦君



伊藤です。私たちは青田リーダーの下、11月1日に『鱗』で内容の濃い話をしました。

会員拡大・退会防止については、「早く馴染んでもらうために新会員のフォロー委員という

感じの委員会を設置する。委員長は会長経験者等が望ましい」。それと「新入会員の相談窓口が必要ではないか」となりました。また、「新入会員は全て親睦委員会に入ってもらおう」という意見も出ていました。「拡大に関しては、従来どおりでいいのではないか」となりました。

90周年・100周年に向けては、「できるだけ準備を早めに始めて、プロジェクト化し、大卒のメンバーを決めておくのがいい」と。

ロータリーカップについては、「今まで関係した方々や中島さんなどを交えて議論してもいいのではないか」ということで、「みんなで、なんとか盛り上げて応援して行きたいな」という話になりました。

### 本日のニコニコ献金

- 杉村 莊平君 第1回旅道金沢編 全員で楽しんで帰ってきました。とあることで全員の金運が爆上がりです。
- 天方 智順君 加賀百万石の地で杉村部長以下皆様にお世話になりました。楽しかったです。
- 工藤 彦夫君 行ってきました。第1回釧路ロータリークラブ旅行部「加賀百万石ぶらり途中ゲロの旅」楽しかった。杉村、市橋ペアに感謝！
- 浅川 正紳君 金沢で香箱蟹を味わって来ました。次回も参加できればと思っています。
- 市橋 彦佳丞君 旅行部で金沢を堪能してまいりました。
- 邵 龍珍君 暫くの間休業していた末広の焼肉金ちゃんを7日から再開することが出来ました。
- 荒井 剛君 小6の娘がこの度、北海道女子野球選抜チームに合格し12月下旬に行われる大会に出ることになりました。

今年度累計 174,000 円